

# 質 疑 回 答 書 (2回目)

2021/7/21

各 位 様

工 事 有和中学校建設工事

番号	図面番号	質 疑 事 項	回 答
1	現場説明書	工事期間 完成 令和 5年 1月 31日 この間532日 と記載されていますが、工事は、令和 3年 8月 上旬から開始できると考えても宜しいでしょうか。	完成年月日より532日前から開始と考えてください。
2	現場説明書	工事が、令和 3年 8月 上旬から開始できない場合は、工事完了も工事開始時期にあわせて、遅れるものと考えても宜しいでしょうか。	上記の着工で令和5年1月31日までです。
3	—	1回目質疑回答A-209等、データ上で回答が全て表示されていない項目があるかと思われます。再度御指示下さい。	第1回目の回答を再提出します。

番号	図面番号	質 疑 事 項	回 答
	【建築工事】		
A-468	No.212、No.284	体育館及び武道場の鋼製床に換気口・点検口及びエキスパンションゴム等は不要でしょうか。必要な場合は、明細をご教授願います。	質疑回答1回目 NO.A-442 による。
A-469	—	既設仮囲H=3000の撤去は、別途工事と考えても宜しいでしょうか。	本工事です。
A-470	A-10-03-1	エレベーター扉枠を末広枠(外部側が広くなってる)に変更しても宜しいでしょうか。	設計図通りとします。
A-471	A-10-01-1 A-10-02-1	EV1、2号機ともに、ガイドシューはスライディングガイドシューとしても宜しいでしょうか。 ※設計図はローラーガイドシュー	メーカー変更に伴う仕様変更であればご提案通りでよろしいです。
A-472	A-10-01-1 A-10-02-1	EV1、2号機ともに、しきい間すきまは10mmとしても宜しいでしょうか。	同上
A-473	A-10-01-1 A-10-02-1	EV1、2号機ともに、かご操作盤は広角ミラー無しとしても宜しいでしょうか。※設計図は広角ミラー付操作盤	同上
A-474	A-10-01-1 A-10-02-1	EV1、2号機ともに、かご内高さが2250mmでも問題ないでしょうか。※設計図は2300mm	同上
A-475	-	構造体強度補正值について、土間コンクリートにも必要と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	必要と考えて宜しいです。
A-476	A-1-02-2	埋戻し土について、※B種とありますが、下部にC種の場合と続きます。使用はB種のみ且つ場外搬出処分と考えて宜しいでしょうか。	B種のみ且つ場外搬出処分と考えて宜しいです。 (S-A01 2.3に記載)
A-477	-	意匠の小立上について、配筋は下記と考えて宜しいでしょうか。 ・縦横 D10@200 ダブルクロス(天端D13)	配筋は下記と考えてよいです。 ・縦横 D10@200 ダブルクロス(天端D13)

番号	図面番号	質 疑 事 項	回 答
A-478	-	設備基礎のコンクリートについて、各棟のコンクリート仕様に準ずると考えて宜しいでしょうか。	各棟のコンクリート仕様に準ずると考えてよいです。
A-479	A-3-03-5 S-A01	ピット埋戻し上部の1F土間接地面について、地業の図示がありませんが、構造特記より砕石t150が必要と考えるて宜しいでしょうか。	砕石t150が必要と考えるてよいです。
A-480	-	数量書-鉄筋工事, シコネクターについて、図中の範囲及び詳細が不明です。御指示下さい。	S-C07図「デッキ受材のおさまり」参照
A-481	-	下記項目のメーカー品番が不明です。御指示ください。 <input type="checkbox"/> 付底(A-1-02-4) <input type="checkbox"/> GL+20288屋根笠木(A-3-03-5) <input type="checkbox"/> 5F屋上メッシュフェンス(A-5-11-3) <input type="checkbox"/> 各棟アルミ目隠しルーバー (A-2-03-1.5-01-4) (A-3-03-2.5-11-3) (A-03-2.2-03-6) <input type="checkbox"/> 屋上ファインフロア(A-3-03-2) <input type="checkbox"/> 外壁及び外部床EXP-J金物(A-9-04-1.3)	<input type="checkbox"/> 付底(A-1-02-4) <input type="checkbox"/> GL+20288屋根笠木(A-3-03-5)：一般普及品 <input type="checkbox"/> 5F屋上メッシュフェンス(A-5-11-3)：朝日スチール 朝日UNフェンス A型 同等品 <input type="checkbox"/> 各棟アルミ目隠しルーバー：ABC商会 BLD-50E同等品 (A-2-03-1.5-01-4) (A-3-03-2.5-11-3) (A-03-2.2-03-6) <input type="checkbox"/> 屋上ファインフロア(A-3-03-2)：ニッケンビルト E型 H60 <input type="checkbox"/> 外壁及び外部床EXP-J金物(A-9-04-1.3)：ABC商会
A-482	A-1-02-3	特記3 9 シーリングについて、「シールのみで防水性能を確保する部分は二重シールするか、耐久性区分を10030以上とする」と記載がありますが、具体的な適応範囲及びシールの二重又は耐久性区分による使い分けを御指示ください。	主に開口部廻り及びALC板目地とし、その他必要と思われる部分に適用する。
A-483	A-1-02-3	特記3 7 その他防水処理 b (2) 土に接する外壁等に関して防水処理が記載されておりますが、本物件においては適応無しと考えるて宜しいでしょうか。御指示ください。	よろしいです。
A-484	A-1-02-3	特記3 7 その他防水処理 b (4) 防水の無い外部床と外壁の取り合い部にポリマーセメント系塗膜防水の指示がありますが、具体的な施工範囲及び防水材のメーカー品番を御指示ください。	適用なしです。

番号	図面番号	質 疑 事 項	回 答
A-485	A-1-02-4 9-03-1~3	<p>特記4 13.1  長尺金属板葺に関する仕様の記載がありますが、屋根仕様は全てA-9-03-1~3図の屋根詳細図に記載の仕様が正と考えて宜しいでしょうか。御指示ください。  また、A-9-03-1~3図の屋根材について、品番(メーカーはA-1-11-1より一原産業)が不明です。それぞれ御指示ください。</p>	一原産業に問合せをしてください。
A-486	A-1-02-4	<p>特記4 13.4  樋欄に記載の下記について、具体的な設置位置及び仕様を御指示ください。  <input type="checkbox"/>掃除口  <input type="checkbox"/>配管用鋼管  <input type="checkbox"/>オーバーフロー管  <input type="checkbox"/>ドレン部 つまり防止網対象範囲  <input type="checkbox"/>遮音処理対象範囲</p>	<input type="checkbox"/> 体育館棟 <input type="checkbox"/> 追加図面を提出します。 <input type="checkbox"/> 屋根 一原産業に問い合わせしてください。 <input type="checkbox"/> 全て適用とします。 <input type="checkbox"/> 体育館棟
A-487	-	<p>屋外のルフトレインは特記なき限り鋳鉄製と考えて宜しいでしょうか。御指示ください。</p>	SUS製とします。
A-488	A-1-02-4	<p>特記4 14.6  屋外の天井LGSに関して、耐震天井の適応はないものと考えて宜しいでしょうか。必要な場合は範囲及び詳細を御指示ください。</p>	駐輪場に適用します。
A-489	A-1-02-4	<p>特記4 14.2  ステンレス面のFU仕上に該当する範囲が不明です。御指示ください。</p>	適用なしです。

番号	図面番号	質 疑 事 項	回 答
A-490	A-1-02-4	<p>特記4 14.13            付け底が適応となっておりますが、下記不明点を御指示ください。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 該当範囲はやまのテラスに図示のあるアルミ底のみが適応と考えて宜しいでしょうか。御指示ください。その他設置範囲がございましたら範囲及びサイズを御指示ください。</li> <li>2. 下地鋼材にZPと記載がありますが、溶融亜鉛メッキリン酸処理仕上(塗装無し)と考えて宜しいでしょうか。また、部材詳細が不明です。併せて御指示ください。</li> <li>3. 底の部分詳細図を御指示ください。</li> </ol>	追加図面を提出します。
A-491	A-1-02-4	<p>特記4 14.12            エクsp<sup>o</sup>ンジョン<sup>o</sup>イント金物について、全てに耐火帯を見込むと記載がありますが、A-9-04-3&lt;B2&gt;のエクsp<sup>o</sup>ンジョン<sup>o</sup>イント金物には耐火帯の記載が見受けられません。特記より外壁側エクsp<sup>o</sup>ンジョン<sup>o</sup>イント金物も含め、全てに耐火帯12.5が必要と考えて宜しいでしょうか。御指示ください。</p>	よろしいです。
A-492	A-9-04-3	EXP-J金物部分に□-100×100の下地鋼材が図示されておりますが、縦方向の部材にサイズ・施工ピッチが記載されておられません。御指示ください。	@600程度とします。
A-493	A-1-02-4	<p>特記4 14.9            金網 φ3.2 50×50、50×100が適応となっておりますが、具体的な施工範囲が不明です。御指示ください。</p>	テラス部等のステンレスメッシュについてはGeobrugg Rombo G65/4同等品としてください。
A-494	A-1-02-4	<p>特記4 14.11            ステンレス手摺が適応となっておりますが、屋外範囲で適応となる範囲がございましたら設置位置・手摺詳細、HL/UU仕上げの使い分けを御指示ください。</p>	テラス部等のステンレスメッシュについてはGeobrugg Rombo G65/4同等品としてください。手摺スチール部等は亜鉛メッキドブ処理+シリコン樹脂塗装としてください。
A-495	A-1-02-4	<p>特記4 14.14            壁小口のプレートについて、施工範囲が図示となっておりますが、図示がなく施工範囲が不明です御指示ください。</p>	適用なしです。

番号	図面番号	質 疑 事 項	回 答
A-496	A-1-02-4	特記4 14.16 目皿が適応となっておりますが、具体的な設置位置及びサイズ等を御指示ください。	ボードデッキ床排水、外部WC φ75
A-497	A-1-02-4	特記4 14.16 丸環が適応となっておりますが、設置範囲が不明です。御指示ください。	体育館棟 5階屋上パラペット 北・東・西面 @2000程度 各棟板金屋根部分は屈折部 @3000程度
A-498	A-1-02-4	特記4 14.19 角だし曲げが適応となっておりますが、具体的な適応範囲が不明です。御指示ください。	見え掛かりとなる部分に適用します。
A-499	A-1-02-4	特記4 14.22 外部に露出するスチールは全てZPと記載がありますが、図中にZPと指示がある範囲とない範囲が見受けられます。仕上塗装のある範囲及び図中にZPと指示がある範囲のみZPと考えて宜しいでしょうか。御指示ください。	耐火被覆を施す部材を除く全て外部に露出するスチール部材はZPです。
A-500	A-6-01-1	凡例kについて、天井面に防水形複層塗材Eと記載がありますが、吹付リソ等ではなく記載通り防水形複層塗材Eで宜しいでしょうか。異なる場合は他の仕様を御指示ください。	弾性吹付塗装とします。
A-501	A-1-02-6	屋外で使用するシリコン樹脂塗装について、下記不明点を御指示ください。 1. 仕様は特記記載のDP 2級と考えて宜しいでしょうか。御指示ください。 2. 屋外のDP B種が適応となっておりますが、図示がなく施工範囲が不明です。該当なしと考えて宜しいでしょうか。必要な場合は施工範囲を御指示ください。	1.よろしいです。 2.よろしいです。
A-502	A-1-02-8	特記8 20.23 くつふきマットが適応となっておりますが、設置範囲が不明です。設置範囲・サイズ・仕様又はメーカー品番を御指示ください。	適用無しです。
A-503	A-1-02-8	特記8 21.2 ウッドデッキ点検口が適応となっておりますが、図示がなく設置範囲が不明です。設置位置・サイズ・仕様を御指示ください。	□450程度、ルーフトレン上部のデッキ材を取外し式とします。

番号	図面番号	質 疑 事 項	回 答
A-504	A-1-03-1	工事範囲において、郵便受けが適応となっておりますが、図示がなく設置範囲が不明です。設置範囲及び員数、仕様又はメーカー品番を御指示ください。	事務室外壁面 SUS製貫通型、内部ボックス付き 1か所
A-505	A-1-02-8 A-1-03-1	工事範囲において、定礎が適応となっておりますが、特記では適応となっております。特記より適応無しと考えて宜しいでしょうか。不可の場合は定礎の詳細を御指示ください。	適用なしです。
A-506	A-1-11-1	特記事項において、塗装仕上は共通して指定色となっておりますが、こちらは特記6 18.0に記載の日塗工N-95の事と考えて宜しいでしょうか。御指示ください。	塗装サンプルを作製・確認を行い決定します。
A-507	A-1-11-1	外部仕上表に有和ゲートと記載がありますが、該当範囲が不明です。適応無しと考えて宜しいでしょうか。必要な場合は該当範囲及び各部の仕上・詳細を御指示ください。	やまのテラス下部、大階段・ホワイエ部分を示します。
A-508	A-9-01-3	地流し・安全柵詳細がございますが、図示がなく設置範囲が不明です。該当範囲を御指示ください。	適用なしです。
A-509	A-3-03-6	5F屋根のパラペット笠木仕様又はメーカー品番が不明です。御指示ください。	アルミ製ノンシールタイプ 一般普及品 アルマイトシルバー
A-510	A-3-03-5	RF X1/Y7-8通り屋根のメーカー品番が不明です。御指示ください。	一原産業に問合せをしてください。
A-511	A-2-03-5 A-5-07-1	1F駐輪場廻りの柱に凡例⑳(シリコン樹脂塗装)と記載がありますが、平面詳細図では耐火塗装となっております。耐火塗装が正と考えて宜しいでしょうか。部分的に使い分けがある場合は範囲を御指示ください。	耐火塗装が正です。
A-512	A-3-03-2	1F駐輪場の躯体上部範囲に関して、床面のコンクリート舗装に関しては嵩上げコンクリート t300+溶接金網 φ6 100×100の下地と考えて宜しいでしょうか。御指示ください。	碎石+コンクリート舗装t80とします。
A-513	A-5-07-2	水飲み場・足洗い場の詳細が不明です。御指示ください。	前回提出の追加・変更項目 別紙-8による。
A-514	A-6-01-2 A-5-08-3	2F屋外室外機置場 天井の梁型について、矩計図ではロックール吹付となっております。平面詳細図に図示のある2F屋外室外機置場の柱型廻りは耐火塗装ではなくロックール吹付が正と考えて宜しいでしょうか。御指示ください。	耐火塗装が正です。

番号	図面番号	質 疑 事 項	回 答
A-515	A-6-02-6 A-3-03-6	5F屋上について、矩計図では外断熱、断熱範囲図では内断熱となっており相違します。いずれが正か御指示ください。 断熱範囲図が正の場合、屋上防水の仕様を御指示ください。	矩計図を正とします。
A-516	A-4-04-2	やまのテラス手摺について、手摺の部材がA-4-02-1の手摺詳細図と相違します。A-4-02-1の手摺詳細図が正と考えて宜しいでしょうか。御指示ください。	A-4-04-2を正とします。
A-517	A-3-01-1	屋外の鉄骨梁仕上について、RF屋根部と4Fテラス部で仕上が相違します。シリコン樹脂塗装が正と考えて宜しいでしょうか。御指示ください。	よろしいです。
A-518	A-3-01-1	C1通りより図面左側の土中外壁部分にPF版t30と記載がありますが、A-3-01-2図では土中外壁部分にPF版の記載がありません。不要と考えて宜しいでしょうか。御指示ください。	よろしいです。
A-519	A-3-01-2 A-9-03-1	矩計図において、屋根からの縦樋径にφ150と記載がありますが、屋根詳細図ではφ100のドレンで指示がございます。縦樋径はφ100を正と考えて宜しいでしょうか。御指示ください。	よろしいです。
A-520	A-5-01-1	水飲み場・足洗い場の詳細が不明です。御指示ください。	前述
A-521	A-9-02-1 A-9-02-2	北側木パネルについて、展開図で図示のあるN-1M、N-1N、N-10、N-1Pがキープランに記載されておりません。また、キープランには展開図にないN-4P、N-40、N-4N、N-4Mが記載されており相違します。展開図のN-1M、N-1N、N-10、N-1PはキープランのN-4P、N-40、N-4N、N-4Mに読み替えと考えて宜しいでしょうか。御指示ください。	よろしいです。
A-522	A-3-02-1 A-9-03-2	矩計図において、屋根からの縦樋径にφ150と記載がありますが、屋根詳細図ではφ100のドレンで指示がございます。縦樋径はφ100を正と考えて宜しいでしょうか。御指示ください。	前述
A-523	A-1-11-2 ～A-1-11-6	壁のマリン化粧板及び化粧ケイカル板について、出隅部及び入隅部にアルミのジョイナーを見込んで宜しいでしょうか。また、目地部はシーリング納まりと考えて宜しいでしょうか。併せて御指示下さい。	目地は凹目地ジョイナー又はシーリングでメラミンと同色としてください。 出隅・入隅は可能であれば留め加工・小段加工にしてください。

番号	図面番号	質 疑 事 項	回 答
A -524	A-9-01-4	ライニングAについて、部分詳細図<07>に腰壁FK t8+GB-S t12.5+EP-G(GB-Sは目地処理)の記載ですが、ケイカ板が上張りとし、ケイカ板面に塗装と考えるて宜しいでしょうか。また、他のライニングについても同様に考えるて宜しいでしょうか。併せて御指示下さい。	よろしいです。
A -525	A-9-01-4	SKについて、部分詳細図<01>に掃除用具掛けフックの図示がありますが、仕様が不明です。ステンレスと考えるて宜しいでしょうか。御指示下さい。	よろしいです。
A -526	A-9-01-4	多目的シートのメーカー品番は部分詳細図<05>によるものとするて宜しいでしょうか。御指示下さい。	記載品番の同等品とします。
A -527	A-1-12-1	多目的WCについて、下記のメーカー品番が不明です。御指示下さい。 ・跳ね上げ手摺 ・ベビースーツ ・ベビークープ ・チェンジングボード	全て一般普及品とします。
A -528	A-9-01-4	多目的WCについて、下記の衛生設備機器に取付下地として耐水合板 t=12を見込んで宜しいでしょうか。御指示下さい。 ・跳ね上げ手摺 ・ベビースーツ ・ベビークープ ・チェンジングボード	よろしいです。
A -529	A-5-01-2 A-9-01-4	多目的WCについて、部分詳細図の大便器裏ライニング部に取付口兼点検口の図示がありますが、平面詳細図にはライニングの図示が無く、違いが異なります。点検口不要とするて宜しいでしょうか。御指示下さい。	ライニング・点検口共に不要です。

番号	図面番号	質 疑 事 項	回 答
A -530	A-5-01-2 A-7-01-4 A-9-01-4	教室棟1階男女WC(1)について、平面詳細図及び展開図の手洗いカウンター横に天井高さの隔て板のような図示がありますが、仕様が不明です。トイブースに倣って宜しいでしょうか。また、他のWCにも同様の図示がある場合は全てトイブースの仕様に倣うものと考えて宜しいでしょうか。併せて御指示下さい。	よろしいです。
A -531	A-5-01-2 A-6-01-4	教室棟1階男子WC(1)について、部分詳細図<08>には小便器部に汚垂石の図示がありますが、平面詳細図には図示が無く、くい違います。部分詳細図を正と考えて宜しいでしょうか。また、他の男子WCについても小便器部には汚垂石を見込んで宜しいでしょうか。併せて御指示下さい。	よろしいです。
A -532	A-5-01-2 A-9-01-4	1階男女WC(1)のSK裏ライニングについて、部分詳細図<09>には面台D=200の図示ですが、平面詳細図にはD=100の図示でくい違います。平面詳細図を正と考えて宜しいでしょうか。また、他の部屋についても平面詳細図と部分詳細図のライニングの奥行がくい違う場合は全て平面詳細図を正と考えて宜しいでしょうか。併せて御指示下さい。	よろしいです。
A -533	A-7-01-4 A-9-01-4	1階男子WC(1)のライニング壁について、部分詳細図<08><09>には小便器、SK共にH=1200の図示ですが、展開図には小便器部はH=1300、SK部はH=1100の図示で相違します。展開図を正と考えて宜しいでしょうか。また、他のWCについてもライニング壁の高さは小便器部 H=1300、SK部 H=1100と考えて宜しいでしょうか。併せて御指示下さい。	よろしいです。
A -534	A-1-02-4 A-5-07-1 A-9-01-3	壁小口部の納まりについて、特記仕様書にはスチール(一部SUS) t=1.6 UUの記載ですが、部分詳細図<05>にはスチール t=1.6 SOP、一部平面詳細図にはPL-1.6 加工 EP-Gの記載でくい違います。部分詳細図を正と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	よろしいです。
A -535	A-5-07-1 P-003	多目的WCの衛生機器の有無について、器具表と付属従物表、平面詳細図、平面図、展開図、部分詳細図の多数の箇所異なります。(例:体育館棟1階多目的WC(1)の器具表には多機能ユニットの記載ですが、平面詳細図にはトイバックの図示はなく、くい違います。)平面詳細図を正と考えて宜しいでしょうか。不可の場合はくい違いが精査された表を御指示下さい。	衛生機器表を正とします。

番号	図面番号	質 疑 事 項	回 答
A-536	A-5-01-2 A-9-01-4	多目的WCについて、部分詳細図にライングの図示がありますが、平面詳細図には図示が無く、違いがあります。多目的WCは全てライング不要と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	よろしいです。
A-537	A-6-01-1	1階の450角の天井点検口について、天井伏図の凡例には82ヶ所の記載ですが、図示は教室棟61ヶ所、メディアセンター24ヶ所、体育館棟6ヶ所の計91ヶ所で違いがあります。図示を正と考えて宜しいでしょうか。凡例が正の場合は各棟の員数を御指示下さい。	よろしいです。
A-538	A-6-01-2~A-6-01-5	上記の質疑に関連して、他の階についても同様に天井点検口の員数が違いの場合は全て図示の員数を正と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	よろしいです。
A-539	-	サッシュと間仕切壁の取合部に木製(スプルス)+SOPのサッシュ方立を見込んで宜しいでしょうか。御指示下さい。	よろしいです。
A-540	A-6-01-1~A-6-01-5	天井の開口補強について、天井伏図の各凡例に記載の員数と図示が違いがあります。図示を正と考えて宜しいでしょうか。凡例の員数が正の場合は各棟の員数を併せて御指示下さい。	よろしいです。
A-541	A-2-01-2 A-5-07-2	1階外部男子WCについて、平面図と平面詳細図で平面プランが違いがあります。平面詳細図を正と考えて宜しいでしょうか。また、他のWCについても平面プランが同様に違いの場合は全て平面詳細図を正と考えて宜しいでしょうか。併せて御指示下さい。	よろしいです。
A-542	A-1-02-7 A-6-02-1	配管ピット・水槽について、PF板の仕様が下記のように違いがあります。断熱伏図を正と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。 ・特記仕様書:3種b ・断熱伏図:2種b	よろしいです。
A-543	A-1-02-7 A-6-02-	現場発泡硬質ウレタンフォーム吹付の仕様が下記のように違いがあります。断熱伏図を正と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。 ・特記仕様書:A種1 ・断熱伏図:A種1H	よろしいです。

番号	図面番号	質 疑 事 項	回 答
A -544	A-04-01-2~4 A-04-02-2 A-4-03-3~5 A-4-04-1~2	階段について、鉄骨階段の段部(踊場・踏面)の下地は、すべてモルタル金鏝+溶接金網 φ3.2 100×100とし、コンクリート階段の段部(踊場・踏面・蹴上)はモルタル下地と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	屋外鉄骨階段のモルタル下地は不要です。 屋内鉄骨階段は、コンクリート部分はモルタル下地とします
A -545	A-5-01-1~ A-9-01-3	平面詳細図の凡例に○コーナー見切材がありますが、詳細は内部部分詳細図(1)06壁コーナー部(コーナーガード)と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	よろしいです。
A -546	A-7-01-1~	展開図の流し台・システムキッチン前に化粧ケイカル板の記載がありますが、納まりは下記と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。 ・目地部:シーリング ・端部:アルミ見切縁	よろしいです。
A -547	-	壁付手摺(LGS面)の下地は、スチール t=1.6 H=200と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	よろしいです。
A -548	A-1-02-7 A-6-02-1~	遮音間仕切のグラスウールについて、下記の不明点を御指示下さい。 1) t=50の密度が下記のように くい違います。断熱伏図を正と 考えて宜しいでしょうか。 ・特記仕様書:32kg/m <sup>3</sup> ・断熱伏図:24kg/m <sup>3</sup> 2) 断熱伏図にはt=50と100の 使い分けがありますが、 特記仕様書よりすべてt=50と 考えて宜しいでしょうか。 3) 上記質疑に関連して、 t=50と100の使い分けが 必要な場合は、平面詳細図と グラスウール範囲が異なるため、 明確な使い分けを御指示下さい。 4) 上記質疑に関連して、 t=100の密度が不明です。御指示下さい。	1)よろしいです。 2)よろしいです。
A -549	A-1-11-2~	仕上表の天井に、GWt=25敷込の記載がありますが、密度は32kg/m <sup>3</sup> と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	24kg/m <sup>3</sup> で良いです。

番号	図面番号	質 疑 事 項	回 答
A -550	A-1-11-2～	<p>仕上表の特記事項タイトルに、図書室・音楽スタジオのみメーカー品番の記載がありますが、下記の不明点を御指示下さい。</p> <p>1) 音楽準備室は音楽スタジオと同じメーカー品番と考えて宜しいでしょうか。</p> <p>2) その他箇所のタイトルのメーカー品番の記載がありません。厚みt=6.5と7.5それぞれの御指示下さい。</p>	<p>1) 準備室は一般普及品とします。</p> <p>2) 共に一般普及品とします。</p>
A -551	A-1-02-7	<p>特記仕様書(7) 19.1.ビニル床シートについて、防滑シートとありますが、体育館のシート(Taraflex Multi Use)のことと考えて宜しいでしょうか。異なる場合は、施工範囲とメーカー品番を御指示下さい。</p>	<p>よろしいです。</p>
A -552	A-1-02-7	<p>特記仕様書(7) 19.1.ビニル床シートについて、熱溶接工法と製作所の指定(推奨)する工法どちらも適用ですが、体育館のシート(Taraflex Multi Use)が製作所の指定(推奨)する工法とし、体育館以外のシートが熱溶接工法と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。</p>	<p>よろしいです。</p>
A -553	A-1-02-7	<p>特記仕様書(7) 19.1.ビニル床シートについて、立上げ巾木ありと記載がありますが、仕上表より該当無しと考えて宜しいでしょうか。必要な場合は、該当する部屋や高さ・見切縁等の詳細を御指示下さい。</p>	<p>よろしいです。</p>
A -554	A-1-02-7	<p>特記仕様書(7) 19.4.ビニル巾木について、半硬質・硬質どちらも適用とありますが、使い分けが不明です。すべて半硬質と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。</p>	<p>よろしいです。</p>
A -555	A-1-02-7	<p>特記仕様書(7) 19.8.フローリングについて、釘止め工法と接着工法どちらも適用ですが、接着工法のみと考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。</p>	<p>体育館棟 舞台と武道場の鋼製床下地部分は釘止め工法とします。</p>
A -556	A-1-02-7	<p>特記仕様書(7) 19.8.フローリングについて、塗装にウレタン樹脂ニス塗と記載がありますが、つやけしがラスコーティングとも記載があり、不明です。つやけしがラスコーティングのみと考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。</p>	<p>よろしいです。</p>

番号	図面番号	質 疑 事 項	回 答
A-557	A-1-02-7 A-6-02-1～	特記仕様書(7) 19.14. 断熱材について、ロックール(吹付・充填)断熱補強部 t=25と記載がありますが、断熱伏図に記載が無い為、該当無しと考えて宜しいでしょうか。必要な場合は、施工範囲を御指示下さい。	よろしいです。
A-558	A-1-02-8	特記仕様書(8) 20.4. グリーンアクセスフロアについて、捨貼合板が必要と思われるが、記載が無く不明です。御指示下さい。	捨貼合板は不要です。
A-559	A-1-02-6.7	塗床・防塵塗装について、下記の不明点を御指示下さい。 1) 特記仕様書の18. 塗装工事と 19. 内装工事で仕様が異なります。 19. 内装工事を正と考えて 宜しいでしょうか。 2) 弾性ウレタン塗床について、 平滑仕上と防滑仕上どちらも適用と ありますが、使い分けが不明です。 すべて平滑仕上と考えて 宜しいでしょうか。 3) それぞれのメーカー品番が不明です。 御指示下さい。	1)よろしいです。 2)弾性ウレタン塗床は無し。 3)一般普及品とします。
A-560	A-1-11-2 A-7-01-1	下記のメーカー品番の記載が不明です。御指示下さい。 1) 長尺塩ビシート t=2.5 (教室棟1階シャワー・洗濯室) 2) 木口ボードシート (教室棟1階廊下他)	1)t=2.0に変更します。フロアリュームプレーン 20FL32 2)サンゲツリアテックホワイトボードシート 同等品
A-561	A-2-01-3～ A-2-01-6	メディアセンター棟・教育棟屋上のハコット M-I-S+M-I外付875×875下タラップについて、仕様・詳細が不明です。段数・仕様が不明です。御指示下さい。	スチール製アングル型タラップ H=4.5m(教室棟、メディアセンター)、 H=5.5m(体育館棟)
A-562	A-2-01-1 S-004	ピット階埋戻し範囲について、意匠図と構造図で埋戻し範囲が違いがあります。意匠図を正と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	構造図を正とします。
A-563	A-2-01-1 A-3-03-1	ピット階について、部屋名の記載が無い箇所があります。部屋名の記載が無い箇所は配管ピットと考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	よろしいです。

番号	図面番号	質 疑 事 項	回 答
A -564	A-2-02-1 A-9-01-3	配管ピット仕上について、部分詳細図より下記と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。 床:コンクリート金鏝 壁:打放補修素地	よろしいですが、 壁の補修は不要です。
A -565	A-3-03-1~4 A-9-01-3	配管ピット壁断熱について、矩計図に壁面一面にPFt=30の記載ですが、内部部分詳細図では壁面にH=350の折返しの図示で くい違います。内部部分詳細図を正と考え、断熱範囲の壁面 全てにH=350の折返しが必要と考えて宜しいでしょうか。また、 矩計図を正とする場合、壁面が断熱材仕上の範囲を御指示 下さい。	A-6-02-1基礎断熱伏図の通りとします。
A -566	A-6-02-1 A-9-01-3	配管ピット天井断熱材の厚みについて、断熱範囲図にPF板t=30 と記載ありますが、無い部分詳細図ではPFt=25とくい違いま す。断熱範囲図を正と考えて宜しいでしょうか。御指示下さ い。	よろしいです。
A -567	A-6-02-1 A-9-01-3	配管ピット梁型について、断熱施工範囲内外に関わらず内部部 分詳細図より打放補修素地程度と考えて宜しいでしょうか。 御指示下さい。	補修は不要です。
A -568	A-2-02-1 A-9-01-3	配管ピット天井について、PF板t=30の施工範囲以外は打放補修 素地程度と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	補修は不要です。
A -569	A-2-02-1 A-9-01-3	ピット階人通路について、ピット平面図に人通路φ500と記載あ りますが、内部部分詳細図の人通路φ600の記載とくい違 います。内部部分詳細図を正と考えて宜しいでしょうか。御指 示下さい。	Φ500を正とします。
A -570	A-2-02-1 A-9-01-3	配管ピット釜場仕上について、湧水槽に倣い珪藻土金鏝の上塗布 防水と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	よろしいです。
A -571	A-2-02-1 A-9-01-3	ピット階連通管について、ピット平面図に各パ〆ンに連通管(φ 100VP半割)を設けると記載ありますが人通路1カ所につき2ヶ 所連通管が必要と考えて宜しいでしょうか。不可の場合は設 置計画を再度御指示下さい。	各梁毎に1カ所設けてください。

番号	図面番号	質 疑 事 項	回 答
A -572	A-2-02-1 A-9-01-3	ピット階連通管について、ピット平面図に連通管VPφ100半割の記載がありますが、部分詳細図のVP150半割とくい違います。φ100半割を正と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	Φ100で良いです。
A -573	A-2-02-1 A-9-01-3	ピット階通気管について、部分詳細図に通気管の記載がありますが設置箇所が不明です。人通口1カ所につき2ヶ所通気管VPφ100が必要と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	よろしいです。
A -574	A-5-01-1～ A-6-02-2～	断熱範囲について、平面詳細図と断熱伏図で断熱範囲がくい違います。断熱伏図を正と考えて宜しいでしょうか。また、平面詳細図を正と考える場合、断熱範囲図を再度御指示下さい。	断熱伏図を正とします。
A -575	A-6-02-2～ A3-01-1～	断熱材折返し範囲について、断熱伏図に折返しL=600の記載がありますが、矩計図では教室棟L=1500、メディアセンター棟L=400、体育館棟L=0のそれぞれの図示がありくい違います。断熱伏図を正と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	よろしいです。
A -576	A-1-11-2～	内部仕上表床バルについて、教室棟放送室の様に仕上バル100/躯体バル20の部屋がありますが、納まりが不明です。仕上バル±0/躯体バル20と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	よろしいです。
A -577	A-2-01-1A5-05-1	1階床下点検口について、ピット平面図にA12/B2通りにマンホールの記載がありますが、平面詳細図に図示が無く、くい違います。ピット平面図を正と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	よろしいです。
A -578	01-1A6-02-1A9-01	ピット階消火水槽断熱材について、断熱範囲図に壁にH=600で折返しの記載がありますが、部分詳細図では折返しの図示が無くくい違います。部分詳細図を正と考え、消火水槽に断熱材の折返しは不要と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	よろしいです。
A -579	A-3-01-3A6-02-2	断熱材折返しについて断熱範囲図にヒートブリッジ t=15 L=600と記載ありますが、矩計図に断熱材t=35の折返しとくい違います。矩計図を正と考え、t=35の折返しが必要と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	t=15で良いです。

番号	図面番号	質 疑 事 項	回 答
A-580	-	天井木ルーバーについて、1回目質疑回答(採番無し5/79上から2番目の質疑)で針葉樹合板+突板練付に変更との記載ですが、追加変更項目では石膏ボード+木パネとくい違います。何れが正でしょうか。御指示下さい。	追加・変更項目を正とします。
A-581	-	手摺の塗装について、1回目質疑回答A-441ではアクリルリヨン塗装との記載がありますが、図面で同手摺にFUとSOPの表記で混在している点、及び1回目質疑回答A-234. 239より内部鉄骨見掛り部は全てSOPとなることから、全てSOP塗装と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	よろしいです。
A-582	-	耐震仕様天井LGSについて、1回目質疑回答A-219では後日追加図面提示との記載がありますが、1回目質疑回答A-458では本工事では無しとくい違います。何れが正でしょうか。御指示下さい。	無しとしてください。
A-583	A-1-02-4	壁LGSが5mを超える箇所の補強について、1回目質疑回答A-461では後日追加図面提示との記載がありますが、特記仕様書金属工事 その他で補強要領の記載があります。図面記載内容で宜しいでしょうか。再度御指示下さい。	特記仕様書を正とします。
A-584	A-5-01-1 A-5-02-4	保健室・学年スペース等の天井カーテンレールはアルミ製と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	よろしいです。
A-585	A-1-11-5.6 A-11-03.4.5	3階ギャラリ-・4階卓球場について、仕上表の床に屋内スポーツ用長尺弾性塩ビシート t=6.0と記載がありますが、2階体育館と同仕様(t=6.2 Taraflex Multi Use)と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	t=6.0はRecreation60とします。
A-586	-	舞台手摺について、1回目質疑回答A-31. 32で後日追加図面提示との回答ですが、1回目質疑回答A-316では設計内訳書通りとくい違います。何れが正でしょうか。御指示下さい。	前回提出の別紙13 体育館棟内部手摺 による。
A-587	-	武道場窓前の衝突防止柵について、1回目質疑回答A-34. 35で後日追加図面提示との回答ですが、1回目質疑回答A-305では範囲及び品番の指示があります。何れが正でしょうか。御指示下さい。	同上

番号	図面番号	質 疑 事 項	回 答
	【電気設備】		
E 13	A-2-03-5 内訳書No.242	塔時計・ポール時計において、図面と内訳書で差異があります。 ・ポール時計：図面CITEZENKST-752C 750角、内訳書Φ1800 ・A-2-03-5図750角を正と考えて宜しいでしょうか。ご教示お願いします。	質疑回答1回目 NO.A-422・448、E-9による。
E 12	内訳書No.373他	内訳書に動力盤の記載がありません。各動力分岐設備に追加すると考えて宜しいでしょうか。ご教示お願い致します。	よろしい。
E 11	E-002	特記仕様 51 に屋外に設置する全ての機器及び盤類は、亜鉛溶射下地処理後耐塩指定色焼付塗装とする。とありますが、キュービクル、発電機の項目では耐塩塗装のみとなっています。屋外機器及び盤類については、一般耐塩塗装と考えて宜しいでしょうか。ご教示お願い致します。	一般耐塩塗装としてよろしい。
E 10	E-002	特記仕様 51に屋外に設置する全後耐塩指定色焼付塗装とする。とありますが、キュービクル、発電機での機器及び盤類は、亜鉛溶射下地処理項目では耐塩塗装のみとなっています。屋外機器及び盤類については、一般耐塩塗装と考えて宜しいでしょうか。ご教示お願い致します。	上記同様。

番号	図面番号	質 疑 事 項	回 答
	【機械設備】		
M-142	P-001,M-101	屋内消火栓ポンプの能力が衛生機器表と消火設備機器表で相違しています。広範囲2号消火ですので90L/min×2箇所 ポンプ能力180L/min 消火設備機器表を正としてよろしいでしょうか。	よろしいです。
M-143	P-001,M-102	排水ポンプフロートスイッチ数量は計装図記載の4個（停止・1台運転・2台並列運転・満水警報）を正として宜しいでしょうか。	よろしいです。
M-144	MP-001 設計内訳書NO.562	機械設備工事特記図に記載の室内空気中の化学物質の濃度測定（30箇所）ですが設計内訳書共通仮費に測定42箇所の記載がありますので工事区分は建築工事範囲と考えて宜しいでしょうか。	よろしいです。 第1回質疑M-15の回答は「濃度測定については、建築工事主体で行い、機械工事としては換気設備の運転を行なう等協力する」へ変更します。
M-145	MP-001 設計内訳書	機械設備工事特記図には消火器に今回対象工事の印◎が記載されていますが設計内訳書に消火器の記載がありません。特記を正と考えて宜しいでしょうか。	第1回質疑M-39・81の回答による。 消火器本体は機械設備工事とします。 数量はABC消火器75本(リサイクルシール含む)とします。 また、ガスバルクまわりの消火器も本工事で見込んで下さい。
M-146	P-001,M-102	排水ポンプフロートスイッチ数量は計装図記載の4個（停止・1台運転・2台並列運転・満水警報）を正として宜しいでしょうか。	よろしいです。
M-147	M-001~004	エアコン室内機用ロングライフフィルター重量法60%と記載がありますがメーカー室内機標準付属のロングライフフィルターは重量法50%位までとなり、60%確保の場合メーカーオプション品の高性能フィルター対応となります。室内機フィルターは標準付属のロングライフフィルターと考えて宜しいでしょうか。また厨房用室内機メーカー対応フィルターはロングライフフィルターのみとなります。	よろしいです。
M-148	P-003	特記仕様書(3) 消火設備 3.保温において、屋内消火栓、連結送水共に「施工する」に○がついていますが、屋外露出、寒冷地の場合に保温を施工すると考えて宜しいでしょうか。	よろしいです。

番号	図面番号	質 疑 事 項	回 答
M-149	MP-005	凡例において、器具接続管が硬質塩化ビニル管(VP)と記載されていますが、65A以上は耐火二層管と考えて宜しいでしょうか。	よろしいです。
M-150	P-002,003	給排水衛生設備 器具表(1)、(2)において、洋風大便器(床置) : BC-P110SA+洗浄便座、BC-P110SA+普通便座が記載されていますが、数量の記載がありません。本工事においては該当なしと考えて宜しいでしょうか。	BC-P110S+洗浄便座及びBC-P110S+普通便座をそれぞれBC-P110SA+洗浄便座及びBC-P110SA+普通便座と読み替えて下さい。 BC-P110Sは該当無しとします。
M-151	7/14受領回答 M-8,66,118	質疑回答において、異なっている回答があります。 給水引き込み口径 : 40A・・・M-6、118 : 50A・・・M-66 どちらが正解でしょうか。	給水本管からの引込管は50Aとします。 定水位弁は1サイズダウンで40Aとします。
M-152	内訳明細書No481、 484 P-004	設計書(内訳明細書)において、全体共用 3排水設備(屋外)に硬質ポリ塩化ビニル管(VP) 地中配管 50A : 55mが計上されていますが、外構図における浄化槽曝気ブローア配管と思われれます。浄化槽用曝気ブローア配管は浄化槽設備に含まれており重複しているので地中配管 50A : 55mは計上しないと考えて宜しいでしょうか。	P484の浄化槽は、浄化槽本体単体のみを見込んでいるので曝気ブローア配管は個別に見込んで下さい。
M-153	P-001, M-102	排水ポンプフロートスイッチ数量は計装図記載の4個(停止・1台運転・2台並列運転・満水警報)を正として宜しいでしょうか。ご指示ください。	よろしいです。
M-154	M-001~004	エアコン室内機用ロングライフフィルター重量法60%と記載がありますがメーカー室内機標準付属のロングライフフィルターは重量法50%位までとなり、60%確保の場合メーカーオプション品の高性能フィルター対応となります。室内機フィルターは標準付属のロングライフフィルターと考えて宜しいでしょうか。御指示ください。また厨房用室内機メーカー対応フィルターはロングライフフィルターのみとなります。	よろしいです。